

## 製品名: Rho GDI $\alpha$ ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab17124

研究使用のみ

### 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

### 抗原情報

遺伝子名	ARHGDI A
別名	ARHGDI A; GDIA1; Rho GDP-dissociation inhibitor 1; Rho GDI 1; Rho-GDI alpha
遺伝子 ID	396.0
SwissProt ID	P52565
免疫原	抗血清はヒト ARHGDI A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 140-189

### 背景

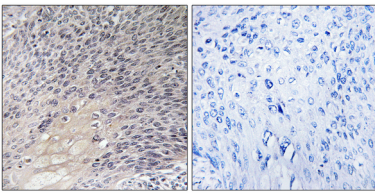
この遺伝子は、Rho GTPase を介したシグナル伝達の制御において重要な役割を果たすタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、Rho ファミリーメンバーと GDP（グアニン二リン酸）の解離を阻害し、これらの因子を不活性状態に維持しま

す。このタンパク質の活性は様々な細胞プロセスにおいて重要であり、腫瘍においてはこの遺伝子の発現が変化する可能性があります。この遺伝子の変異は、ネフローゼ症候群 8 型患者において発見されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 7 月],機能: Rho タンパク質からの GDP の解離とそれに続く GTP の結合を阻害することにより、Rho タンパク質の GDP/GTP 交換反応を制御します。類似性: Rho GDI ファミリーに属します。サブユニット: モノマー。、

## 研究分野

神経栄養因子;

## 画像データ



ARHGDI1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。